



使用に際しては、添付文書等をよく読んでください。



# ヴィンテージ アート ユニバーサル

歯科セラミックス用着色材料

使用説明書  
Instructions for Use

**SHOFU INC.**



世界の歯科医療に貢献する

**株式会社 松風**

<http://www.shofu.co.jp>

本社 ● 〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11・TEL(075)561-1112(代)



## はじめに

このたびはヴィンテージアートユニバーサルをお買い上げいただき有難うございます。  
本材を正しくご使用いただくために、ご使用前に本説明書をよくお読みください。  
また、お読みいただいた後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

ヴィンテージアートユニバーサルは、天然歯に近い色調を容易に再現できるインナー（内部）およびアウトター（外部）共用の歯科陶材用ステイン（歯科セラミックス用着色材料）です。  
歯科用セラミックス材料（ジルコニア、プレス用セラミックス）、金属焼付用陶材やジルコニア用陶材、陶歯など幅広い材料の色調調整に使用出来ます。

### 目次

1. 安全上の警告、注意	P3
2. 特長	P3
3. 包装	P7
4. 色調コンセプト	P8
5. 使用方法	P11
6. 使用例	P12
7. トラブルシューティング	P15

## 1 安全上の警告、注意

### 1-1 使用上の注意

- (1) 本材の使用後は、速やかに蓋を閉めること。
- (2) 本材の粉とヴィンテージアートユニバーサル専用液、ヴィンテージアートユニバーサル山本リキッドは必要量だけを取り出して使用すること。なお、余剰分は元に戻さないこと。
- (3) 本材を直接手で触らないこと。
- (4) 取り出した粉とヴィンテージアートユニバーサル専用液、ヴィンテージアートユニバーサル山本リキッドは、速やかに使用し、長時間放置しないこと。
- (5) 焼成温度は、炉の形式や機種により異なりますので、使用前に試し焼きをして、適する条件を確認すること。
- (6) 本材の付属品のヴィンテージアートユニバーサル専用液、ヴィンテージアートユニバーサル山本リキッド以外とは組み合わせて使用しないこと。
- (7) 本材と他の製品との混用は行わないこと。
- (8) ヴィンテージアートユニバーサル山本リキッドはプラスチック類を溶かす恐れがあるため、練和パレットにはガラスもしくは磁器製を使用すること。

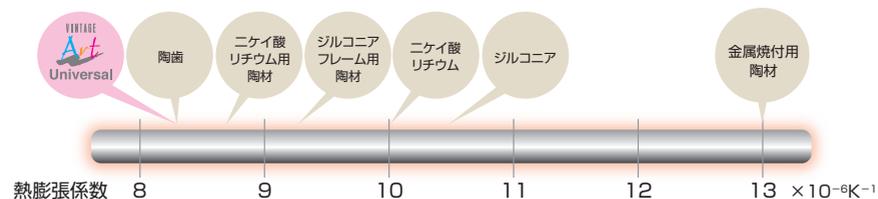
### 1-2 重要な基本的注意

- (1) 本材の使用により発疹、皮膚炎等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- (2) 本材の焼成物の研削・研磨作業の際には、目の損傷を防ぐために、保護眼鏡等の保護具を使用すること。
- (3) 本材の焼成物の研削・研磨作業等の際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないこと。
- (4) 本材を皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。皮膚に付着した場合にはすぐに大量の流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。
- (5) 付属品のヴィンテージアートユニバーサル専用液、ヴィンテージアートユニバーサル山本リキッドは可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。

## 2 特長

### 2-1 幅広い適用範囲

様々な歯科用セラミックス材料に使用することができるインナー（内部）およびアウトター（外部）共用のステイン材で、歯科用セラミックス材料（ジルコニア、プレス用セラミックス）、金属焼付用陶材、ジルコニア用陶材、既製陶歯など、幅広い材料の色調調整に使用できます。



## 2-2 使いやすいパウダータイプ

ヴィンテージ アート ユニバーサルは、パウダータイプのステインとグレースです。パウダータイプのため、臨床用途に応じた粘度調整が可能です。ステインの発色を薄めたいときには、グレース(GP:蛍光性無し)を追加して薄めます。グレースを追加して薄めることで、ガラス粒子が介在するため均一に塗布でき、焼成面の仕上がりがキレイになります。

## 2-3 すぐれた光沢性&発色性

本製品では、新たに開発した低温で溶解しやすいガラス、新規顔料技術により微細な顔料粒子を採用しました。このため、グレース(GP: 蛍光性無し、GP-F: 蛍光性有り)は薄い塗布層でも光沢を得ることができ、クラウンの表徴を生かしたまま表面を滑沢に仕上げることが可能です。またステインは高発色であり、ステイニングで表現できる幅が拡大しました。

### ①すぐれた光沢性

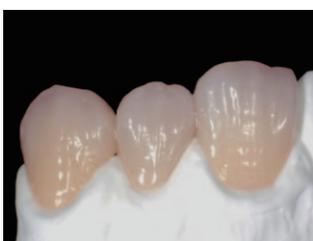


グレース焼成前



グレース焼成後

### ②ヴィンテージ アート ユニバーサルを用いたステイニングの例



モノリシックジルコニアへの使用

## 2-4 豊富な色調(ステイン27色、グレース2色)

### ● ステイン(全27色)

色調		色調	
P ピンク		DR-Br ダークレッドブラウン	
V バイオレット		Br ブラウン	
DR ディープレッド		B-Br ブラックブラウン	
Y イエロー		W ホワイト	
LY ライトイエロー		Vn バニラ	
Gr グリーン		B ブラック	
Bl ブルー		G グレー	
Bl-G ブルーグレー		K カーキ	
O オレンジ		AS Aシェード	
O-Br オレンジブラウン		BS Bシェード	
MP マメロンピンク		CS Cシェード	
Mlv マメロンアイボリー		DS Dシェード	
LO ライトオレンジ		RS Rシェード	
		LS ライトシェード	

※印刷物のため実物とは色調が異なる場合があります。

基本色ステイン     カラーステイン     シェードステイン



## 3 包装

販売名	一般的名称	承認・認証・届出番号
ヴィンテージアートユニバーサル	歯科セラミックス用着色材料	管理医療機器 医療機器認証番号 230AFBZX00033000

## セット

## ■ ベーシックカラーセット

- ステイン16色 各2g：P、V、Y、Gr、Bl、Bl-G、O、O-Br、DR-Br、W、B、AS、BS、CS、DS、K
- グレース1色 15g：GP-F
- ヴィンテージアートユニバーサル専用液 50mL

## 単品

## ■ ステイン

- 内容量：2g(パウダータイプ)
- 色調：27色/P、V、DR、Y、LY、Gr、Bl、Bl-G、O、O-Br、MP、Mlv、LO、DR-Br、Br、B-Br、W、Vn、B、G、AS、BS、CS、DS、RS、LS、K

## ■ グレース

- 内容量：15g(パウダータイプ)
- 色調：2色/GP、GP-F

## ■ 専用液

- 内容量：50mL

## ■ 山本リキッド

- 内容量：50mL

## ● グレース\*(全2色)

色調	自然光下	ブラックライト(紫外線)下
GP-F グレージングパウダー フルオ		
GP グレージングパウダー		

※ジルコニアで作製した丸板の上に塗布

## 2-5 すぐれた蛍光性

GP-Fは、薄い塗布層でも高い蛍光性を付与することが可能です。



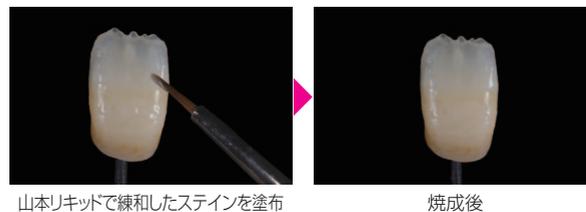
## 2-6 新規練和液「山本リキッド」の採用

新規練和液「山本リキッド」(別売)を使用することで、ステインの塗布作業時に仕上がり(焼成後)の色調をあらかじめ確認することができます。この「山本リキッド」は、山本リキッド・テクニク\*を実現するために、屈折率をステインの基材ガラスと同じに設計しています。

## ※山本リキッド・テクニク

1980年代に、世界的セラミストとして著名な山本 眞先生がご考案された技法です。陶材に使用されているガラスの屈折率に適合した液(山本リキッド)を練和時に使用することで、塗布作業の段階で焼成後の色調を確認できます。

塗布作業時に仕上がり(焼成後)の色調をあらかじめ確認できる使用例



山本リキッドで練和したステインを塗布

焼成後

## 4 色調コンセプト

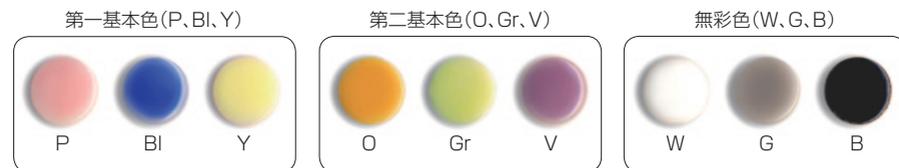
ヴィンテージ アート ユニバーサルは全27色のステインを揃え、色調コンセプトは3つのグループで構成されています。

### 色調コンセプト

1. 基本色ステイン      2. シェードステイン      3. カラーステイン

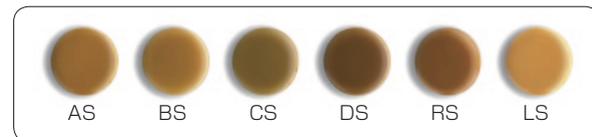
### 1. 基本色ステイン

これらの色調を基本として、天然歯牙の色調調整及び特徴付けを行います。



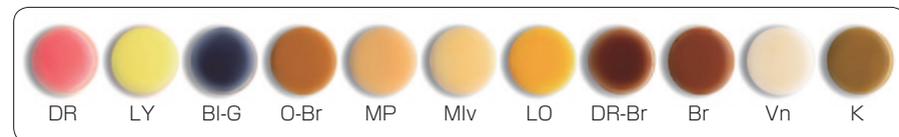
### 2. シェードステイン

シェードステインは色調調整(シェード濃度)に使用します。



### 3. カラーステイン

豊富な色調により複雑な混色作業を最小限にとどめ、色調再現が簡単におこなえます。そして、様々な症例に適応し自然感のある審美修復物を製作することができます。

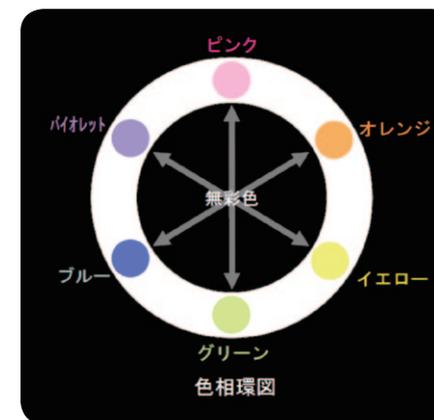


## ■ 基本色ステイン

基本色には、第一基本色と第二基本色、及び無彩色の計9色があります。

基本色は、各ステインの色合いや明るさの調整に使用します。

第一基本色<ピンク、ブルー、イエロー>  
第二基本色<オレンジ、グリーン、バイオレット>  
無彩色 <ホワイト、グレー、ブラック>



基本色を右図の色相環で現すと、ピンク、ブルー、イエロー(第一基本色)の中間にオレンジ、グリーン、バイオレット(第二基本色)が存在し、無彩色は色相環の中心に存在します。

色相環上で向かい合う色調は、互いにその色調を打消し合う性質があり、これを補色の関係といえます。

ステインの混合やセラミックス修復物の色調調整を行う場合、この補色の関係を活用すると、色相の調整が容易に行えます。また、無彩色であるホワイト、グレー、ブラックは、ステインやセラミックス修復物の明るさの調節に用います。

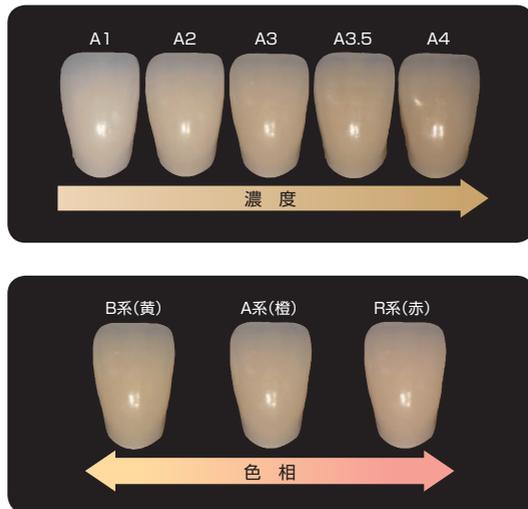
例) : 緑味を減らす場合、補色関係のピンクを塗布します。



## ■ シェードステイン

シェードステインは色調(濃度、色相)調整に最適なステインです。シェードガイドの系統に合わせた5色(AS、BS、CS、DS、RS)と新たにLSをラインナップしました。

LSはセラミックスのホワイトニング系の明るさを維持したままシェードの微調整が出来ます。



例) : A系統のクラウンのシェードを濃くする場合、AS(Aシェード)を塗布します。



## 5 使用方法

### ① 歯冠修復物の清掃

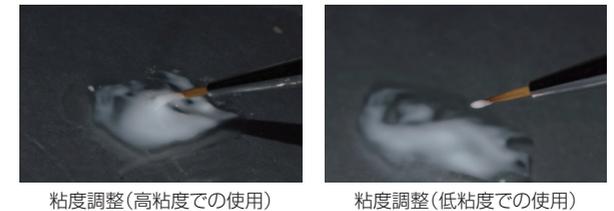
上水やアルコール等を用いて、色調調整を行う対象の歯科修復物表面から、汚れ等の付着物や油分を除去します。

### ② 準備

ガラス練板やステインパレット上に粉を採取します。採取した粉を混色する場合は、自由な比率で混ぜ合わせ、所望する色調に調整します。採取した粉にヴィンテージ アート ユニバーサル 専用液またはヴィンテージ アート ユニバーサル 山本リキッドを加えて練和し、ペースト状にします。

塗布性の変化を所望する場合は、適宜、ヴィンテージ アート ユニバーサル 専用液またはヴィンテージ アート ユニバーサル 山本リキッドを加えて混ぜ合わせます。

例：塗布性の変化



### ③ 塗布

練和したペーストを、筆等を用いて塗布します。



### ④ 焼成

歯科技工用ポーセレン焼成炉を用いて焼成します。

焼成スケジュールの一例

開始温度(°C)	乾燥時間(分)	昇温速度(°C/分)	焼成温度(°C)	係留時間(分)	焼成雰囲気	真空開始温度(°C)	真空解除温度(°C)
400	6(7 <sup>*1</sup> )	50	730 <sup>*2</sup>	1	真空焼成 <sup>*3</sup>	450	720

※1 ヴィンテージ アート ユニバーサル 山本リキッドを使用の際は、乾燥時間を7分にしてください。

※2 730°C以上で焼成可能であるため、表面光沢が不十分な場合は、焼成温度を上げてください。

※3 1.3 ~ 8.0kPa

## 6 使用例

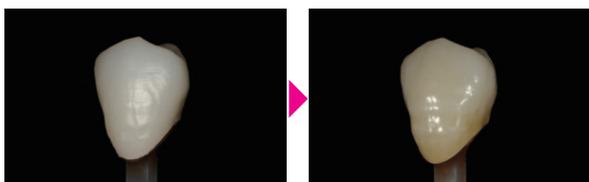
## 色調調整と艶出し操作

歯科用セラミックス材料に使用する場合、ステインで色調調整、グレースで艶出しを行います。また、グレースとステインを混ぜて色調調整と艶出し操作を同時に行うことも可能です。



あらかじめステインとグレースを練和

ステインとグレースの練和物を塗布



モノリシックジルコニア色調調整前

モノリシックジルコニア色調調整後

既製陶歯の形態修整後の艶出しや、色調調整、キャラクタライズなどにも使用できます。



既製陶歯の形態修整

既製陶歯の色調調整後

## ステイニング

陶材やジルコニア、プレス用セラミックスなどの色調調整に使用します。また、各種フレームのファンデーションに使用します。

- マメロン色調の付与・調整  
マメロンの色調を強調する場合はマメロンアイボリー、マメロンピンク、バニラ、ライトイエローなどを塗布します。



フレームファンデーションでのマメロン調整

- 切端部の透明感の調整  
切端部の透明感を付与する場合、ブルー、ブルーグレー、バイオレットなどを用います。



透明感及びマメロン調整

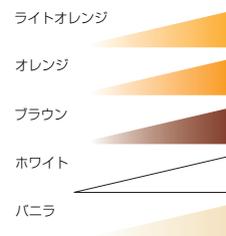
- 咬合面の色調調整  
咬合面を表現する場合、オレンジやライトオレンジ、オレンジブラウン、ブラウンなどを咬合面の中央付近に薄く塗布します。また、小窩裂溝にはダークレッドブラウンやブラックブラウンなどを塗布します。



咬合面の色調調整

- 白帯や脱灰の色調

白帯や脱灰を表現する場合は、ライトオレンジやオレンジ、ブラウンなどをホワイトやバニラと混ぜて使用します。

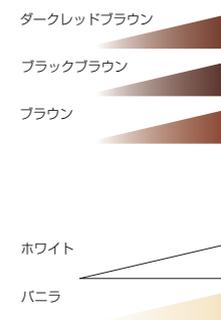


脱灰の表現



白帯の表現

- ヘアライン、クラックラインの色調  
ヘアラインを再現するには、ダークレッドブラウンやブラックブラウンまたはブラウンを用います。クラックラインはホワイトまたはバニラなどを使用します。



ヘアライン表現



クラックライン表現

7 トラブルシューティング

	症状	原因	解決法	備考
グレース関係	光沢が出ない。	液で薄めすぎている。	液で薄めすぎない。	粉1gに対し液1.25g以下の比率でご使用ください。
		焼成温度が低すぎる。	焼成温度を上げる。	基材の材質、大きさにより焼成具合が異なります。
グレースおよびステイン関係	白濁する。	GP-Fの塗布量が厚すぎる。	薄く塗布する。	GP-Fは薄い塗布層で十分な蛍光性がありますので、薄く塗布してください。
		真空焼成が出来ていない。	真空で焼成する。	ポーセレンファーマスの焼成スケジュール及びコンディションも確認してください。
	気泡が発生する。	塗布面が汚れている。	超音波洗浄器やスチームクリーナーを用いて十分に洗浄する。	
		乾燥時間が短すぎる。	乾燥時間を長くする。	乾燥が不十分で液成分の残存による突沸が原因です。
		乾燥温度が高すぎる。	乾燥温度を低くする。	液成分の突沸が原因です。
焼成温度が高すぎる。	焼成温度を低くする。	850℃以下の焼成が望ましいです。		
焼成台や焼成トレーの温度が高すぎる。	ステージ下降後、2～3分経過後に焼成トレーを焼成台に置く。	焼成台の温度が著しく高いときに、練和物を塗布した補綴装置を載せると、液成分が突沸し気泡の原因になります。液が突沸しない温度まで焼成台が冷えてから焼成トレーを載せて焼成を開始してください。		

●歯肉色の色調付与

歯肉色の表現には、ピンク、ディープレッド、オレンジブラウンなどを使用します。静脈の再現にはバイオレットやブルーを用います。

また、メラニン変色部や歯肉溝の強調にはダークレッドブラウンやブラウンなどを用います。



歯肉色の表現



メラニン変色部や歯肉溝の強調